

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の試料（例：血液など）や診療情報（例：カルテの情報など）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

試料・情報の 利用目的及び 利用方法	研究の名称 アミロイド蛋白質の免疫組織化学的同定 抗原賦活化としてのサチライシン前処置についての検討
	研究の対象 1985年～2020年12月までの期間に浜松医科大学医学部附属病院において、病理学的にアミロイドーシスと診断された方
	研究の目的 アミロイドーシスは、特定の蛋白質がアミロイドと呼ばれる異常な線維状会合物となって種々の臓器に沈着して機能障害を引き起こします。中でも全身性アミロイドーシスは長い間、治療困難でしたが、近年になって成因解明や治療開発が進み、一部のタイプについては承認薬が出現など、徐々に原因療法が可能になりつつあります。そこでアミロイドーシスと診断した場合、治療法や予後推定の見地から、沈着アミロイドのタイプ診断（＝アミロイド蛋白質の同定）を正確に行うことが非常に重要です。 アミロイド蛋白質の同定は通常、各蛋白質に対する特異的な一次抗体を用いた免疫染色という方法で行います。しかし、免疫染色での正確な同定は必ずしも容易でなく、しばしば偽陰性や偽陽性があるので注意が必要です。未だ特異性・感度ともに優れた一次抗体は限られており、染色方法にもコンセンサスが得られていないのが現状です。 本研究では、種々のアミロイド蛋白質を対象に、サチライシン（スプチリシン）前処置が免疫染色結果に及ぼす影響を検証し、その抗原賦活化法としての可能性を明らかにして、アミロイドーシスの正確なタイプ診断法の確立を目指します。
	研究の期間

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

	<p>研究機関の長による実施許可日から 2024 年 3 月まで</p> <p>他の機関に提供する場合には、その方法 この研究では試料・情報を外部へ提供しません。</p>
<p>利用し、又は提供する試料・情報の項目</p>	<p>研究に使用する試料・情報</p> <p>研究に使用する試料として、 ・病理解剖、手術、生検で採取された臓器・組織から、病理診断時に作製されたホルマリン固定パラフィン包埋ブロックの残余検体 があります。</p> <p>研究に使用する情報として、 ・病理解剖や診療で得られた情報（病理組織診断、病理組織画像、アミロイド蛋白質型） があります。</p> <p>いずれの試料・情報も全て他の情報と照合しない限り特定の個人を識別できない状態にして使用します。</p>
<p>利用する者の範囲</p>	<p>機関名および責任者名 浜松医科大学医学部附属病院 病理部 馬場 聡</p>
<p>試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称</p>	<p>浜松医科大学医学部附属病院 病理部 馬場 聡</p>
<p>試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止(受付方法含む)</p>	<p>あなたの試料または情報を研究に使用することを望まない場合には、問い合わせ先までご連絡をいただければ、いつでも使用を停止することができます。連絡方法は、問い合わせ先に記載のある電話もしくはメールでお願いいたします。</p>
<p>資料の入手または閲覧</p>	<p>この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。なお、希望された資料が他の研究対象者の個人情報の場合には、資料の提供または閲覧</p>

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

	はできません。
情報の開示	あなたご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望されない場合は、開示いたしません。 また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合は、原則的に結果を開示いたしません。
問い合わせ先	〒431-3192 浜松市東区半田山一丁目20番1号 浜松医科大学医学部附属病院 部署名： 病理部 担当者： 馬場 聡 TEL： 053-435-2755 E-mail： baba@hama-med.ac.jp